

私たち、「菊池市の学校給食を考える会」は、「菊池市内の小中学校に、安心・安全な学校給食の提供を」との思いで、昨年8月から活動を開始し、定期的に学習会を行うなどの活動を行っています。

今回、4月4日告示で行われます菊池市長選挙において、立候補を予定されている方に、学校給食に関する見解をお聞かせいただきたいと思い、公開質問状という形で下記の内容での質問をお願いする次第です。お忙しい所、大変恐縮ではありますがご協力、よろしくお願いいたします。

2021年3月26日 「菊池市の学校給食を考える会」代表 中里千恵

### 公開質問状

1. 現在、菊池市内の小中学校の給食では、週3日、米飯給食が実施されています。千葉県いすみ市では、市内の小中学校すべてに地元産の有機米を使用し、子ども達の健康の面ではもちろん、給食と有機農業が市の魅力となり、農業の担い手や移住者も増え、地域に新たな活力を呼び込むきっかけとなっています。

菊池市においても市内の小中学校の給食において、地元の有機米や、より安全な「特別栽培米」を使用することを目指すべきと思いますが、この点での見解をお聞かせください。

2. 輸入小麦で作られたパンから発がん性の疑いのある除草剤・グリホサートが検出され、全国の学校給食で提供されているパンからも検査を行った事例で検出が出ています。菊池市内の小中学校の給食で提供されているパンも、9割が輸入小麦が原材料であることが議会の答弁でも明らかとなっています。このことに鑑み、学校給食に提供するパンの原料である小麦については、外国産の輸入小麦ではなく、国産小麦の使用へと切り替えるべきと思いますが、この点での見解をお聞かせください。また、安全性を考慮する点からも、又、成人のメタボ対策で和食が推進されている点などからも、米飯給食を増やすべきと思いますがどうでしょうか。

3. 農業は、菊池市の基幹産業です。生産者に学ぶ「食育教育」は、食を大切に作る心を育み、郷土の良さを知ることにつながります。生産者と連携して、米作りや味噌作りなど、食に関する体験を更に充実することが重要だと考えますがどうでしょうか。

4. 現在、配布されています「給食だより」には、献立表の他に、コラム欄があり、内容の工夫がされていますが、更に、心身の健康に関する情報等も掲載するなど、「食育だより」としての役割を果たせるように内容の充実を図っていくことが出来ればと考えますがどうでしょうか。

5. 昨年12月に行なわれた国の種苗法改定により、今後、ゲノム編集作物が市場に多く流通してくることが予想されます。

ゲノム編集に関しては、食品の安全性への問題や環境への影響など、様々な問題点が専門家から指摘されていますが、①ゲノム編集作物について、どのように考えていらっしゃるでしょうか。②今後、ゲノム編集作物が近縁種と交雑し、広がっていく可能性を考えた時、菊池市の農作物を守るために、どのような対策を考えていらっしゃるでしょうか。以上、2点について見解をお聞かせください。

※以上、5点について、市長選の告示日（4月4日）までに、回答を頂けると助かります。よろしくお願いいたします。